

静かなルートで滑りも大満足！(Aパーティ)—————

越後 巻機山～ブサの裏沢～深沢

浅井

【日時】 2008年4月5日～6日

【メンバー】 L浅井、野村、大田原、山川

4/5 快晴

7:30出発。同じ井戸尾根を登るBパーティとほぼ同時に出発したが、Bパーティのペースは最初から早く、最初の1本で先を行く彼らの姿は見えなくなってしまった。我々は今日は行程的には楽なので、のんびり進むことにする。朝から日差しがいっぱいなので、日焼け対策を念入りにする。山川さんはスカーフで顔全体を覆い、アラブ人に変身していた。井戸の壁と呼ばれる急登のあたりから、山川さんのペースが落ちてきた。彼女は今日は体調が思わしくなく、足に力が入らないとのこと。途中の展望台付近では、米子沢がよく見えた。大滝はまだ雪に埋まっているようだった。井戸尾根はさすが人気のルートだけあって、我々と相前後して多数のパーティが登っていた。



★ブサの裏沢 源頭の大斜面を滑る

切り込み隊長を買って出て、思い切りよく滑り降りていった。結局この急斜面が一番滑りやすい所だった。先行のシュプールは全くなく、我々だけの独占状態！ 途中の大滝は完全に埋まっており問題なし。ぐんぐん高度を下げて、15:30、あっという間にテン場予定地の1156m(上ゴトウジ沢出合)に到着。ここは昔(96年秋)、沢でブサの裏沢に行った時に泊まった場所なので懐かしい。

今回はテントは持参せず、雪のブロックを

12:50、ニセ巻機着。避難小屋は完全に雪に埋まっていて見えない。私はこの時期の巻機山は初めてだが、滑りを楽しめそうな斜面があちこちにある。本当にスキー向きの山だと思った。14:30、巻機山頂に着く。そこから牛ヶ岳の方に向かい、鞍部の手前あたりから、ブサの裏沢に滑り込むことにした。出だしが少し急に見えたので、私がスタートを躊躇していると、今日も絶好調の大田原さんが



★快適な一夜を過ごした我が家

積み上げて泊まる予定なので、さっそく沢の出合の斜面を利用して、雪を掘り出し、ブロックを積み上げる。最後はタープを2枚天井に張って、17:20、今宵の宿が完成した。四人が快適に過ごせるように、かなり大きめに作ったので、中は快適そのもの！ 難点はタープの継ぎ目から風が入ってくることと、ツェルトでふさいだだけの入口からすきま風が吹き込んでくることであった。前者に関しては、もう一回り大きめのタープを用意するか、継ぎ目をテープなどでうまく貼り合わせるなどの工夫が必要。後者については、入口のブロックを二重にすればかなり改善できるのではないかと思う。ともあれ、山川さんもすっかり元気になり、楽しい夜を過ごせた。

4/6 快晴

快適で明るいスノーハウスの中で朝からゆったりくつろいでしまった。しかし今日も行程的には楽なので、急ぐ必要はない。昨日はやや強い風が吹いていたが、今日は朝から無風快晴で、パッキングをしていると汗ばむくらいの陽気だ。

8:15、出発。テン場から南西に延びるトトンボ尾根の枝尾根を登っていく。ここは鈴木さんの記録(年報13号)にも書かれている通り、すばらしいブナ林が続き、心が癒された。トレースは全くなく、我だけの独占状態！ 至福の時を味わう。米子頭山から東に延びるトトンボ尾根に合流する手前あたりから、Bパーティのものと思われるトレースがあり、そのトレースはゴトウジ沢の方へと続いていた。Bパーティはかなり早いペースで行程をこなしているようだ(メンバーを見れば納得…)

トトンボ尾根に合流すると一気に展望が開け、行く手には米子頭山から柄沢山へと続く国境稜線が間近に見える。この辺りから傾斜は緩くなり、快適な稜線散歩といった感じになる。今日も絶好調の大田原さんがぐんぐん先に進んで行く。昨日不調だった山川さんは、今日は元気に登っているので一安心。

米子頭山への最後の登りが始まる手前で、無線交信も兼ねて大休止。先ほどから1809m付近のピークに人影が見え、こちらに向けてコールしている声が聞こえたが、それはやはりBパーティであることが無線で確認できた。彼らは後はノミオ沢を滑るだけのようだ。

さて我々は、再び大田原さんトップで最後の急登を登りきり、10:50、米子頭山に着く。ここは岩場をうまく迂回して最後までシールで登れた。しばし大展望を楽しんだ後、深沢の源頭へと稜線を南下する。鞍部への下りはやせた急斜面だったのでスキーを外した。鞍部からの深沢源頭の西面は出



★米子頭山の山頂にて

だしがクラストした急斜面で、その先の様子もよく見えない。大田原さんは大胆にもスキーを履いたまま横滑りで下りたが、あとの3人は傾斜が緩む所までツボ足で下りた。大田原さんの勇気には脱帽である(笑)。滑りも力強いし、本当にたくましい山女になっ

たなあと感心することしきりであった…。「大田原さ～ん、か弱い我々を置いて行かないで～！」

先に様子を見に行った大田原さんからGOサインが出たので、我々もスキーを履いて、11:45、滑降開始。最初はやや急斜面だったので、スキー板が短い山川さんは何度も転びながら難渋していたが、その先は快適な斜度の斜面が続き、皆会心の滑りが満喫できた。深沢は記録もなくあまり期待はしていなかったのだが、このあたりは雪質もよく、なかなかいい斜面だった。もちろん先行のトレースは全くなく、ここも我々だけの独占状態だった。

下部にさしかかると雪が重くなり、足を取られるようになってきた。途中小さなナメ滝が出ていたが、問題なし。12:30、1050mの三俣で小休止。昨夜の残りのビールを皆で回し飲みする。後は沢をひたすら下り、二つ目の堰堤が出てきた所で左岸の台地に上がり、ノミオ沢のトレースと合流して、なおも林道を滑り下り、13:30、ゴールの山田屋旅館の脇に出た。

今回は楽しいメンバーと素晴らしい天気にも恵まれ、会心の会山行となった。人気のない静かなルートに浸り、憧れのブサの裏沢はもちろん、深沢の滑りも十分満足のゆくものだった。皆さん、どうもありがとうございました。

【行程】

4/5 清水(7:30)～ニセ巻機山(12:50)～巻機山(14:30)～上ゴトウジ沢出合(15:30) c 1
4/6 c 1(8:15)～米子頭山(10:50)～深沢滑降開始(11:45)～1050mの三俣(12:30)～清水(13:30)

【地図】 巻機山



★ブサの裏沢 大滝より下部を滑る



★深沢上部の快適な斜面を滑る